

2.6 接着耐久性

モルタル破壊部をNLペーストで接着接合した試験体を薬液に浸漬し、経時的に引張接着強さを調べた結果は、図-2.15のようにほぼ横這いで安定している。硫酸浸漬のものは、モルタル自身が劣化し、強度低下が生じた。

また、モルタル破壊部をNLペーストで接合した試験体を異なる温度の気中と水中で長時間養生した後の引張接着強さは、図-2.16のように経時的な変化がなく安定しており、60℃程度までなら実用上問題ない耐久性を有している。

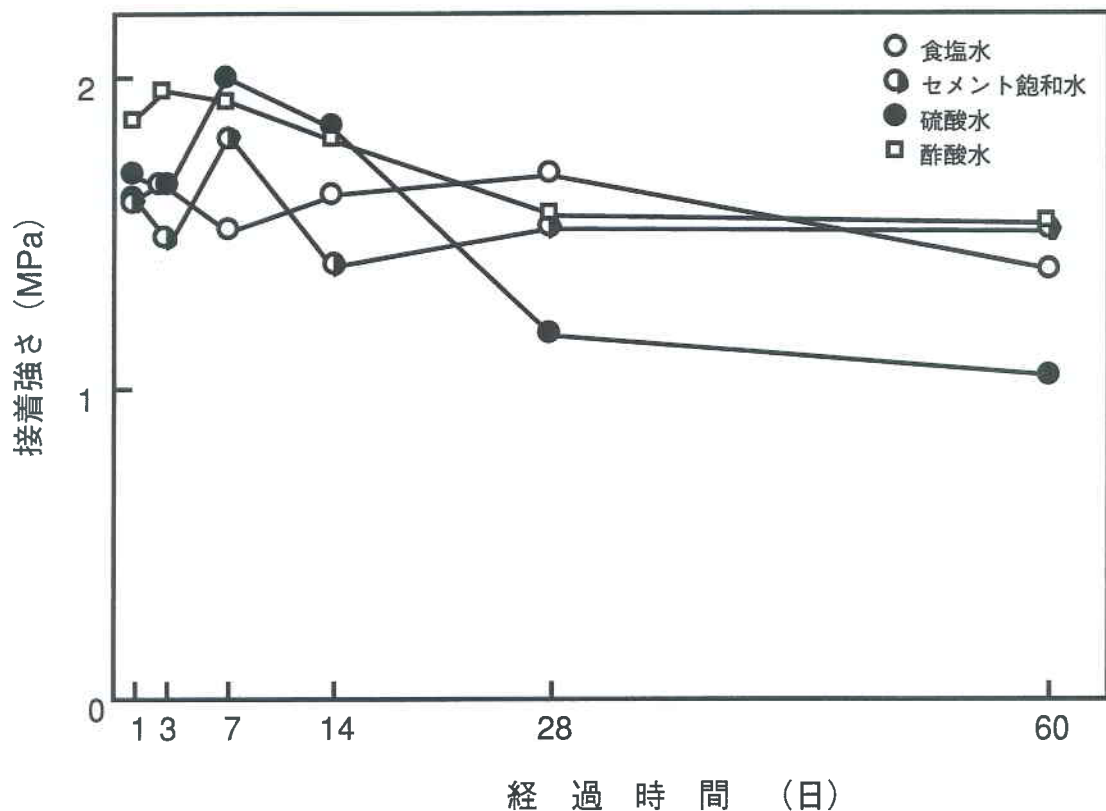
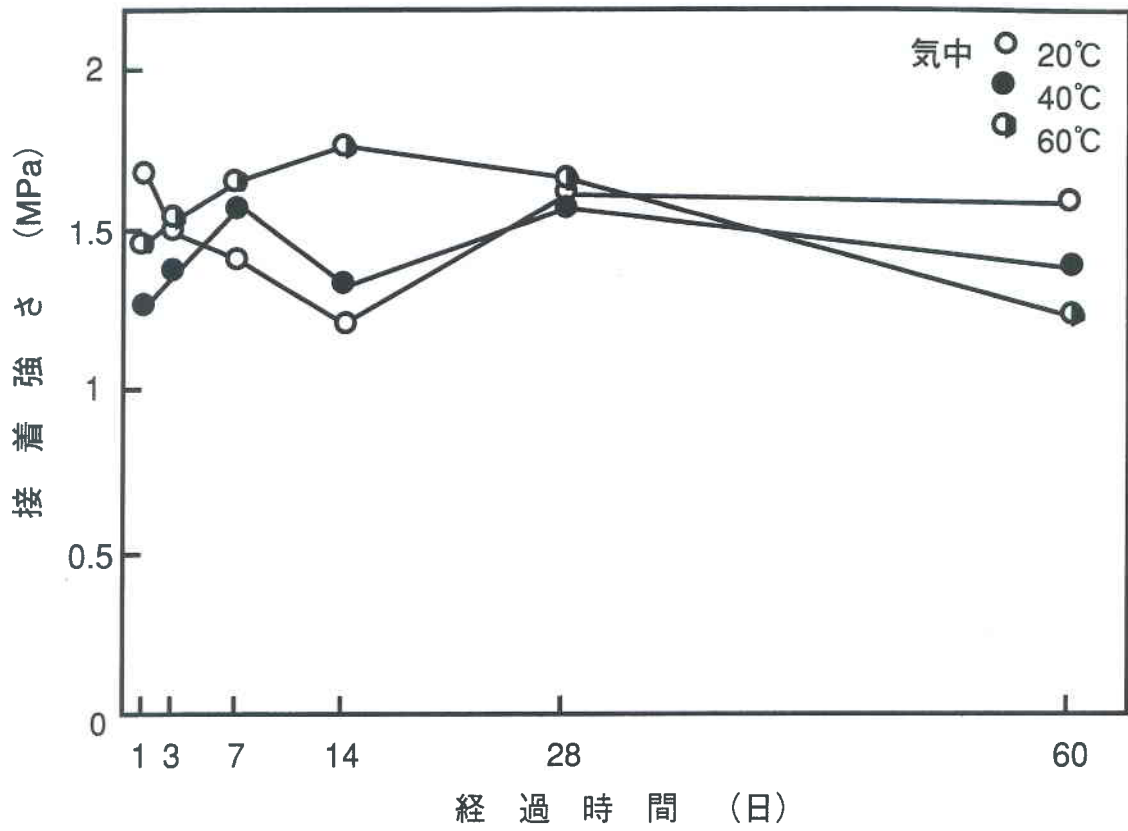
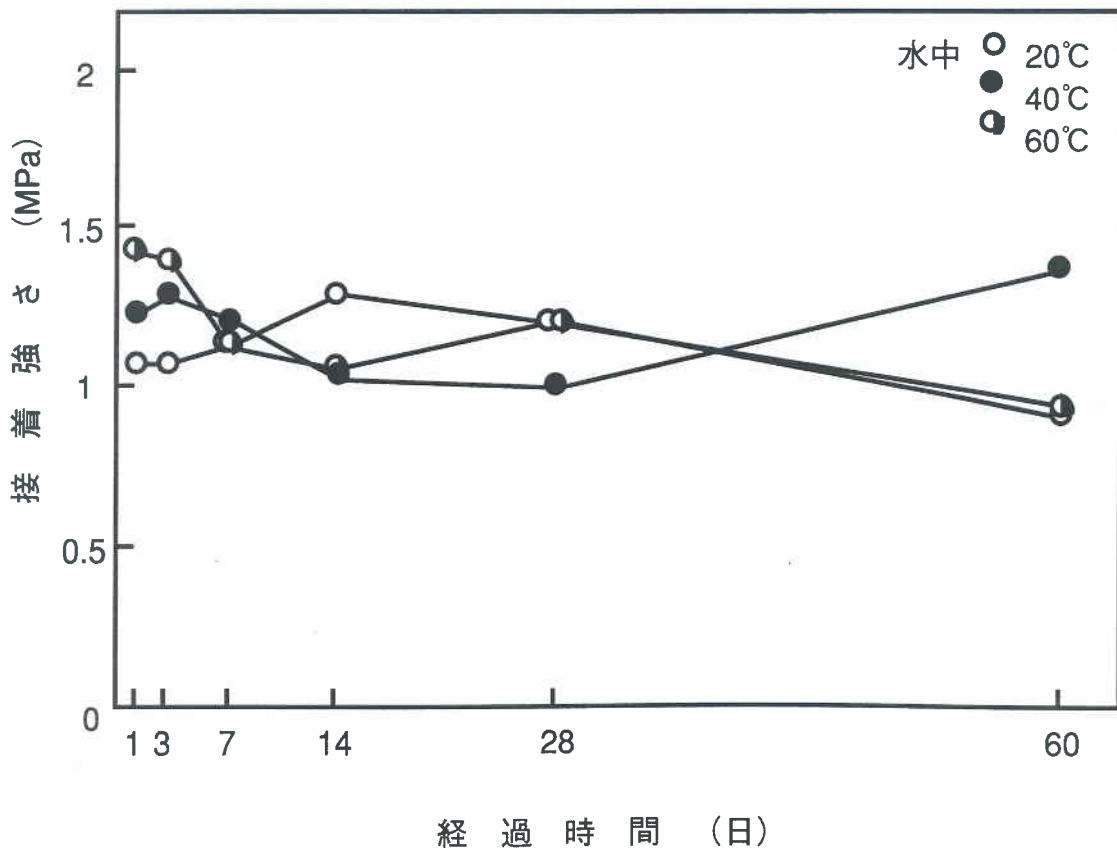


図-2.15 経過時間と接着強さの関係



(a) 気中養生



(b) 水中養生

図-2.16 経過時間と接着強さの関係